

令和4年度第2回 豊能町立図書館協議会 会議報告

1	会議の名称	令和4年度第2回 豊能町立図書館協議会
2	開催日時	令和5年1月12日(木) 10時15分～11時30分
3	開催場所	豊能町立図書館 集会室
4	事務局	生涯学習課 図書館
5	出席者	<p>委員</p> <p>石塚 謙二委員 金井 理枝子委員 田中 未知委員 藪田 昇太郎委員</p> <p>事務局</p> <p>生涯学習課長 寺倉 義浩 図書館長 藤木 裕美 図書館再任用主査 南 正好 図書館主事 梅田 建都</p>
	会議の次第	<p>1. 図書館長挨拶</p> <p>2. 議題</p> <p>1) 豊能町公共施設再編に関する最終報告書(案)について</p> <p>2) 豊能町立図書館運営規則の改正について</p> <p>3) その他</p> <p> 令和4年度図書館蔵書点検報告</p> <p>3. 連絡事項</p>
7	審議等の要点	別紙のとおり
8	報告者	豊能町教育委員会 こども未来部 生涯学習課 図書館 梅田 建都

令和4年度第2回 豊能町立図書館協議会 要点
(令和5年1月12日(木)開催)

開 会 (図書館長挨拶)

開会の挨拶と当日欠席委員の報告を行った。

議 事

①豊能町公共施設再編に関する最終報告書(案)について

事務局 (事務局より説明)

中間報告書より変更された点を説明のほか、新規建設による建設費用には過疎地域指定を受けたことによる過疎対策事業債の活用が可能であることを報告、また過疎対策事業債の利点を説明。

委 員

ユーベルホールの実態について聞きたい。以前より赤字であることは理解しているが、催事による収入もあると思う。一方で機器・物品の維持費だけでも莫大なコストがかかると聞く。周辺自治体に代替施設があるので維持することが必要とは言い切れないが、集約化した場合に余剰の土地・部屋を削減することで町の規模に合った施設とすることで保持するのも一手ではないか。

事務局

委員ご指摘のとおり、維持費で大きなコストがかかることや現在使用していない部屋があることは事実。どこかで切り捨てる必要はあると考えるが、施設規模の削減には限界がある。

委 員

サービスの質が低下すると利用者も離れる可能性がある。例えば「オオサカン」が定期的に利用しているが、規模的に活動ができなくなるのではないか。

事務局

「オオサカン」に関しては協定自体がユーベルの施設ありきのものとなっており、現状の設備が使えないとなると先方に利点はないので協定はなくなる見込みである。これもまたダウンサイジングのデメリットの一つである。

②豊能町立図書館運営規則の改正について

事務局 (事務局より説明)

図書館運営規則において統一されていなかった文面の整理、資料寄託の廃止、図書館協議会に関する規則の整備を行う予定。

また、資料の収集と除籍に関して要綱と方針、基準を定める予定。

除籍資料の無償譲渡に関して要領を定める予定。

委員 資料の収集と除籍に関する要綱において「方針」と「基準」が併存しているが、このふたつの差はなにか。

事務局 「方針」は資料収集の方向性を定めるもので、「基準」は判断をするためのもの。要綱、方針、基準の順になる。

③令和4年度図書館蔵書点検報告

事務局 (事務局より説明)
令和4年12月20日より蔵書点検を行い、図書館の蔵書12万件余りの点検を行った。残念ながら所在不明の資料も発覚し、4年間の蔵書点検においていずれの回でも発見できなかった資料は91冊。発見不可能として除籍を行った。所在不明が3年以内の資料については104冊となっている旨を報告。

委員 所在不明の資料があることについては残念だが、蔵書の総数に対しては所在不明資料が少なく思える。所在不明となる要因についてはどのようなものか。

事務局 現在、利用者には基本的に館内端末によるセルフ貸出を行っていただいている。その際にバーコードの読み取りミスなどによる貸出漏れがあることは確認している。結果的にはあるが、帯出防止システムの導入・維持費よりも費用的には抑えられている形。これからも利用者の皆様には善良な利用をお願いしたい。